

拉致問題の理解促進・情報発信にかかわる最近の取組について

平成30年6月
拉致問題対策本部事務局

1. 国内向け理解促進活動

(1) 広報媒体の活用

- ・ 拉致啓発ポスターやパンフレットの製作・配布の実施。
- ・ 拉致問題対策ホームページの開設・運営。
- ・ 内閣府庁舎1階啓発コーナー「拉致問題を知るひろば」の運営。
- ・ 映画「めぐみ—引き裂かれた家族の30年」及びアニメ「めぐみ」の上映会の開催。
- ・ 「拉致被害者御家族ビデオメッセージ～必ず取り戻す！愛する家族へ～」を制作し、上映会を開催するとともにホームページにて公開。



(2) 学校教育における取組

- ・ アニメ「めぐみ」のDVDを作成。全国の小学校、中学校、高等学校、公立図書館に無償配布し、上映を促進。また、学校（小・中・高）からの要望に応じて事務局職員を派遣し、拉致問題の概要を説明。
- ・ 中高生を対象とした作文コンクールを実施。優れた作品には大臣表彰を実施。
- ・ 拉致問題担当大臣及び文部科学大臣の連名で、アニメ「めぐみ」等の学校上映及び作文コンクールへの参加を促す通知を全国の教育委員会等宛てに発出（平成30年3月7日付）
- ・ 大学生を対象とした啓発セミナーを開催。第1回は大学コンソーシアム佐賀（平成27年10月）、第2回は秋田大学（平成27年11月～12月）、第3回は北海道教育大学（平成28年11月～12月）、第4回は上越教育大学（平成29年10月～12月）との共催で開催。
- ・ 小中高校の教員等を対象とした研修会を実施予定（平成30年度新規事業）。



(3) 「拉致問題を考える国民の集い」の開催

- ・地方公共団体及び民間団体との共催等による啓発行事として平成20年度から全国各地で「拉致問題を考える国民の集い」を開催。平成29年度は全国6都市（福岡県福岡市、千葉県千葉市、茨城県水戸市、鳥取県米子市、山口県山口市、大阪府大阪市）で実施。

(4) 拉致問題啓発舞台劇「めぐみへの誓い—奪還—」の開催

- ・拉致問題啓発のための舞台芸術事業の一環として、地方公共団体との共催により、舞台劇公演「めぐみへの誓い—奪還—」を開催。平成29年度は全国7都市（東京都板橋区、佐賀県伊万里市、広島県広島市、秋田県横手市、福井県小浜市、宮城県多賀城市、沖縄県宜野湾市）で実施。



(5) 北朝鮮人権侵害問題啓発週間における政府主催行事の開催

- ・北朝鮮人権侵害問題啓発週間にあわせ、平成18年より毎年、政府主催で講演会やシンポジウムを開催。
- ・平成29年度は、12月16日に、政府主催国際シンポジウム「圧力強化の先に見えるもの—制裁の効果と今後の展開」を開催（共催：法務省、後援：文部科学省）。
- ・また、同日、日本で北朝鮮向けラジオ放送を行う拉致問題対策本部事務局と民間団体との共催で、共同公開収録を実施。



2. 海外向け理解促進活動

- ・ 拉致問題の解決には国際社会との連携が重要であり、海外でも政府主催の国際シンポジウム等を開催し、国際社会に向けた情報発信と連携強化に取り組んでいる。
- ・ 平成28年5月には、ワシントンDCでCSISとの共催シンポジウム、NYの国連本部で政府主催国際シンポジウムを実施し、加藤拉致問題担当大臣が出席。同年12月には、日本、米国、韓国、豪州、EUの共催により、NYの国連本部にて北朝鮮の人権状況に関するパネルディスカッションに加藤拉致問題担当大臣がパネリストとして出席。
- ・ 平成29年5月には、加藤大臣がベルギー・ブリュッセルの欧州議会を拉致問題担当大臣として初めて訪問し、欧州議会議員と拉致問題に関する政策対話を実施。
- ・ 平成30年5月には、加藤大臣が米国を訪問。NYの国連本部において、日本、米国、韓国、EU、豪州の共催により、拉致問題を含む北朝鮮の人権問題に関するシンポジウムを開催。



NY国連本部でのシンポジウム（平成30年5月）

3. 情報発信（北朝鮮向けラジオ放送）

（1）内閣官房拉致問題対策本部事務局「ふるさとの風」「日本の風」

- ・ 北朝鮮に囚われている拉致被害者に御家族の声や励ましのメッセージを伝えるとともに、北朝鮮の人々の我が国に対する理解を増進する情報の発信等を行うため、平成19年7月から「ふるさとの風（日本語）」及び「日本の風（韓国語）」を毎日放送。

（2）特定失踪者問題調査会「しおかぜ」における政府メッセージ送信

- ・ 日本政府の立場やメッセージを伝える機会を増やす観点から、特定失踪者問題調査会の「しおかぜ」による政府メッセージ送信を平成22年度から業務委託。平成29年度からは短波に加え中波でも実施。



放送時間等・周波数

日本語番組（ふるさとの風）

- 2.2時30分～2.2時57分 周波数：7.29.5kHz(300kw)、9.70.5kHz(300kw)、9.9.5.0kHz(100kw)
- 2.3時0分～2.4時0分 周波数：7.29.5kHz(300kw)、9.5.6.0kHz(300kw)、9.9.6.0kHz(100kw)
- 2.5時0分～2.5時30分 周波数：6.0.4.5kHz(300kw)、9.6.9.0kHz(300kw)、9.9.7.5kHz(100kw)
- 2.6時0分～2.6時30分 周波数：6.1.5.5kHz(300kw)

韓国語番組（日本の風）

- 2.2時0分～2.2時30分 周波数：7.29.5kHz(300kw)、9.4.6.5kHz(300kw)、9.9.5.0kHz(100kw)
- 2.4時0分～2.4時30分 周波数：7.29.0kHz(300kw)、9.8.0.0kHz(300kw)、9.9.7.5kHz(100kw)
- 2.4時30分～2.5時0分 周波数：7.29.0kHz(300kw)、9.4.6.5kHz(300kw)、9.9.6.5kHz(100kw)
- 2.5時30分～2.6時0分 周波数：6.1.5.5kHz(300kw)

※上記放送時間日本時間（JST）、周波数は2018年2月現在のものです。
 ※平成29年4月より22時25分30分の放送時間帯の周波数が3波に増え、25時30分25分30分の放送時間帯が新たに増えました。
 ※詳細は特定失踪者問題調査会ホームページ「しおかぜ」の「日本の風」は拉致問題対策本部のホームページでもお聞きいただけます。
 詳しくは以下のHPアドレスをご覧ください。
<http://www.wraoch.go.jp/>
 情報提供：拉致被害者に関する情報があれば、以下のアドレスまでお寄せください。
info@wraoch.go.jp